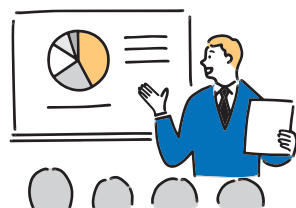


事前説明会

「本講座に興味があるが、どんな受講イメージが分からない。」「受講して成果が出るのか？」といった方向けに、本講座の概要や事例をご紹介します事前説明会を開催します。

説明会概要

日時	令和6年7月9日（火）13:30～15:30
会場	福井県産業情報センタービル（坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16）
対象者	DX経営塾の受講を検討している方
定員	20社程度
参加費	無料
動画	アーカイブ配信あり



参加お申込み 申込〆切:7/31(水)

1 ホームページよりお申込みください
<https://dxlab.doorkeeper.jp/events/174731>



2 メールに必要事項を書いてお送りください
メール送付先 dx-g@fisc.jp

【必要事項】 ※メールへ記載する事項のメモとしてお使いください

会社名		住所	
ふりがな		ふりがな	
受講者名①		受講者名②	
所属・役職		所属・役職	
電話番号		E-mail	

※FAXでのお申込みは受け付けておりません

お問い合わせ

fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター 新産業支援部 DX推進グループ
(担当: 太刀内)

TEL 0776-67-7416

E-mail dx-g@fisc.jp

主催

(公財)ふくい産業
支援センター



協賛

(一社)日本デジタルトランス
フォーメーション推進協会



ふくいDX経営塾

「実践できるDX」を学び、仲間と一緒に始めよう！

企業がこの先生き残るためには、予測困難なビジネス環境に適応し、自ら変化し続けなければなりません。DX（デジタルトランスフォーメーション）は、デジタルのイメージが強いですが、企業が変化しながら生き残ることがDXの本質です。DXは、効果が出るのに時間がかかります。今すぐ始めないと間に合いません。これを機に、DXの一步を踏み出しましょう。

受講料
無料

ふくいDX経営塾の特徴



全10回の講座で
実践を支援



実績豊富な講師陣



ワークショップやディスカッションで
体験しながら学習できる内容



生成AI活用を含む
最新の内容



復習と実践に役立つ
アーカイブ配信



講師にチャットで
すぐに質問可能



自社のDX経営計画
が作成できる



共にDXを進める
仲間ができる

受講
対象

DXを実践したい県内企業等の
経営者、後継者および経営幹部等

本塾で目指す姿

DXの進め方が分からない状態から、なぜ自社が変わらないといけないのか（DXが必要なのか）を理解し、そのために必要な行動を自身が中心となり実行できる「DX人材」を目指します。

講師（統括）

モノデジタル株式会社 代表取締役

和田 正典 氏

全国の中小企業を対象にDX推進を支援し、DX関連の講演・セミナー講師として全国で登壇。本塾も全国で実施しており、本塾をきっかけにDXを始めた中小企業を複数輩出した実績を持つ。



詳しくは
中面へ

目的 概要

企業等の経営者と推進者が、自社のDXを自力で考え、行動するための知識とスキルを習得し、自社のDXの中核となる「DX人材」になることを目指します。

期 間 令和6年8月～11月（全10講）
※詳細スケジュールは右ページ参照

会 場 福井県産業情報センタービル
（坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1～16）

方 式 集合形式

対象者 DXを实践したい県内企業等の経営者、後継者および経営幹部等

定 員 20社（1社あたり原則2名）

受講料 無 料

講師

統括講師

モノデジタル株式会社 代表取締役 **和田 正典 氏**

和歌山県出身。2014年にUターンし、建設会社の情報システム部門を1から立上げ、2021年「全国中小企業クラウド実践大賞」で総務大臣賞を受賞。その後、モノデジタル株式会社を設立し、全国の中小企業を対象にDX推進の支援や、DX関連の講演・セミナーを実施。本塾も全国で実施しており、DX実践企業を複数輩出。その取り組みが認められ「全国クラウド実践大賞2023」の支援プログラム賞を受賞。



ゲスト講師

第2講担当



株式会社イズミダ（出水田鮮魚）
常務取締役
出水田 一生 氏
全国中小企業クラウド実践大賞2022
全国大会 総務大臣賞

第5講担当



kintone
エバンジェリスト
今野 愛菜 氏
全国中小企業クラウド実践大賞2021
全国大会 日本デジタルトランスフォーメーション推進協会賞

第6講担当



ウォーターデジタル合同会社
代表
原田 篤史 氏
建設業の元情報システムグループ長
会社全体のデジタルシフトに貢献

第7講担当



明善株式会社
代表取締役
中谷 太一 氏
保険領域の元データアナリスト
信用リスクに対するデータ分析等に長ける

受講者の声※

※他県で実施された同様の講座



A社
DXをあまり良く分かっていない私でも理解しやすい、寄り添った講義内容だったので継続して参加できました。



B社
受講前にも「DX＝デジタル化ではない」と聞いてはいましたが、ついデジタル化と混同してしまっていました。この講座を受講して、DXは「デジタルで起こす変革」だと認識を変えることができました。



C社
DXに正解はないと思いますが、DXがふわっとした印象から、会社が10年100年と生き残っていく上で不可欠な概念であると理解できました。



D社
発表会のプレゼン資料は、私にとっては本気のDX経営計画書でした。会社と自分にここまで真剣に向き合ったのは、初めての経験でした。

本塾の特徴



ワークショップやディスカッションなど、体験しながら学習できる内容が豊富です。



各講の終了後にアーカイブ配信を行います。実践のための復習等に活用できます。



講座期間中は、講師にチャット等で質問可能です。DX実践中の疑問もすぐに解決できます。



修了生だけのコミュニティに参加できます。仲間と一緒にDXの実践を続けられます。

スケジュール

※各講 13:30～16:30（第9講のみ14:00～17:00）

第1講 8月1日（木）
意識変革領域（1）
DXをなぜしないといけないのかを理解し、「X」の変革が最重要だと認識を変える

- DXの目的と事例
- VUCAの時代
- 意識変革の言語化ワークショップ

第2講 8月8日（木）
意識変革領域（2）
事業承継を機にDXに取り組んだ講師から、意識変革のマインドを学ぶ

- 実践企業から学ぶDXの進め方
- デジタルマインドチェンジの要因
- ゲスト講師との意見交換会

第3講 8月22日（木）
知識変革領域（1）
デジタルツールの選定ポイントを学び、全体最適のためのシステム組立図を理解する

- クラウドサービスの活用
- 生成AI活用（Copilot など）
- デジタルツール連携でアイデア出し体験

第4講 9月5日（木）
知識変革領域（2）
アプリ開発を体験し、デジタルツールで出来ることを学ぶ

- クラウドストレージの活用
- ノーコードでアプリ開発体験
- Google Apps Script の紹介

第5講 9月19日（木）
組織変革領域（1）
組織と業務を俯瞰的に見る体験をし、組織と業務の改善点を考える

- 「わがままカード」を使ったグループディスカッション
- TOCワークショップ

第6講 10月3日（木）
組織変革領域（2）
DXへ進む際に、反対・抵抗勢力が生まれることを理解し、対処方法を学ぶ

- 組織再構築への難所
- DXでよくあるトラブルと対処方法
- 「受け皿（環境）が先か？人材が先か？」

第7講 10月17日（木）
データ活用
データ化するプロセスを学び、データで経営判断する重要性を理解する

- データドリブン経営とは
- データ活用事例
- Google Looker Studioで見える化

第8講 10月31日（木）
総 括
受講者同士で学んだ内容を振り返り、DX経営計画の作成を開始する

- 印象に残った講義の発表
- 発表会について説明
- DX経営計画の作成開始

第9講 11月22日（金）
発表&講評（1）
自社のDX経営計画を発表し、DXの第一歩を踏み出す

- DX経営計画の発表・講評（Day-1）

第10講 11月29日（金）
発表&講評（2）
自社のDX経営計画を発表し、DXの第一歩を踏み出す

- DX経営計画の発表・講評（Day-2）

※原則、全ての回にご参加ください。どうしても参加が難しい回は、代理の方の出席でも構いません。